

会 議 録

1 会議名

平成29年度 第7回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○各部会の協議の経過について

(2) その他（公開）

3 開催日時

平成29年9月25日（月）午後6時30分から午後7時35分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：井部辰男（会長）、関川正平（副会長）、石野敏、上村闈一、笠原昇治、佐野喜治、滝本篤透、西巻肇、芳賀芳明、橋本博太、船木貴幸、望月博、山本光夫、山本誠信、横山一雄（委員16人中15人出席）
- ・東北電力株式会社：渡邊副調査役、南雲主査
- ・河川海岸砂防課：梅澤課長、澤田副課長
- ・事務局：頸城区総合事務所 橋立所長、石野次長、石川市民生活・福祉グループ長、総務・地域振興グループ 村山班長、田中主査、古川主任
(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容

【石野次長】

- ・会議の開催を宣言

【井部会長】

- ・挨拶

【石野次長】

- ・佐藤委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：関川委員、滝本委員に依頼

【井部会長】

協議事項「各部会の協議の経過について」地域振興部会の佐野座長に報告を求める。

【佐野座長】

地域振興部会の大きなメインテーマとして、少子高齢化問題・人口減少問題がある。先般の各地区の意見交換でも二つの問題に絡んだものがメインだった。

人口が少ない、特に若者が集えるような組織や場所などの助成の仕方、人材派遣や地域に密着した働く場所の確保など検討しなければならない。団地造成をして低額で売り出し、地方創生・魅力ある生活圏を作るということである。特に中山間地が全国的にも大問題になっているが、平場の所でも問題があるのではないかな。

テーマとして挙げているデマンドバスは、買い物難民・通院対応のため、10人乗り程度のバスを各地区に1、2台配備できるような形で運営できないか。既存の公共交通は通勤通学に特化したものにできないかななどの意見があった。

バスのデマンド化は高齢者対策、若者対策は働く場所の開拓、確保である。地域での人材育成は支援の仕方を検討しなければならない。3つ目は団地造成、女性を含め子供、家族含め人口増が図られるのではないかな。

【井部会長】

- ・「地域振興部会」の報告を終了
- ・「産業部会」上村座長に報告を求める

【上村座長】

昨年9月に第1回目の部会が開かれた。区内の道路の話や空き家、黒井駅に関する事など19項目が私どもの分野に入っている。部会の中では、19項目もあり何をするのかという話があり、先般地域の皆さんとの話で、観光に関することや農村公園に関する事、大池小池に関する事があるので、今回は大池周辺の関係するものについて、産業部会として取り組むこととした。

昨年の平成28年10月に部会の皆さん全員と会長、副会長にお願いをして、大池周辺を見分した。先般部会としてどういう形でいくのが良いか、まとめて整理をした。大池に関すること、ビジターセンターも含め「だろっ話」しかわからない。指定管理者としてビジターセンターが平成28年度にどれくらい管理費をもらっているのか。農林水産整備課からビジターセンターに関する経費はどれくらいか。観光振興課から大池いこいの森のキャンプ場や遊歩道、駐車場、トイレ、観光案内や看板等経費の正確な金額がわからない。まず、地域協議会の皆さんと問題点を共有したい。お金の流れとしては農村振興課・農林水産整備課・観光振興課から大池周辺にどの位の経費が支出されているのかである。

今後は、産業部会として、大池周辺を一点に絞っていこうと決したところである。

【井部会長】

- ・「産業部会」の報告を終了
- ・「教育・福祉部会」芳賀座長に報告を求める

【芳賀座長】

地区別意見交換会で地域協議会として、もしくは総合事務所として市民の皆さんに向けて回答を出してもらおうというのが一つである。部会としては大きく分けて、公民館分館の問題・高齢者福祉の問題、特に交通をどうするか。交通に関してはこれから具体的に情報を集めて、整理していくという段階である。

分館については総合事務所に申し入れをし、分館の使用方法・料金等を具体的にマニュアル的なものを出していただきたい。これから情報を集めて一つに絞って進めていきたい。産業部会がかなり先行しているようなので意見書の提出は、まず先にやっていただき、我々はできるだけ早くまとめていきたい。

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

話を聞いていると、どの部会も自主審議に取り上げるテーマの課題は、絞り込みはしているが、具体的にどうするかというところには、まだ至っていないというような気がするがいかがか。

【上村座長】

部会の中では具体的に意見書という言葉も出ている。しかし部会として方向付けをするのはいかななものか。委員の皆さんと共有してからと考えている。

【井部会長】

地域協議会として、自主審議のテーマに取り上げる課題を絞り込んでいただいている。絞り込んだ後で自主審議をどうするかということになる一つ前の段階であり、地域の課題はものすごくあり、深刻だということになる。

【笠原委員】

それぞれの部会として、情報収集が細かくできていないので、実態を一步進んで調べていただき、優先順位をつけて絞り込んでいくのが良いと思う。

【上村座長】

自主的審議に入る前に地域協議会としての協議で皆さんと共有し、その後、部会でもう一步進んで意見書まで行くのか、また、それまでにワンステップあるのか。その辺を整理していくべきである。

【井部会長】

地域協議会で、自主審議のテーマとしてどこに課題を入れ込むか3つの部会で絞り込み、地域協議会として自主審議に入ろうということになった時、行政を含め、いろいろなところから情報提供をしてもらい論議をしたいと思う。それぞれの部会での絞り込みの段階では、行政から資料提供を受け、テーマを絞り込んでこれでいこうというときに行政も含めた論議の場所を作りたい。

【上村座長】

産業部会として大池小池周辺開発はこれで良いのか、そして管理もこれでよいのかというところで、ある程度結論が出ている。産業部会としてそういう方向で皆さんから了解をいただいて一步前へ進みたいと思っている。

【関川委員】

三部会の話进行中、今一番みえてきているのが大池小池問題の産業部会である。他のデマンドバスにしても、教育・福祉部会の外出支援の問題にしてもそう簡単にいく問題ではない。例えば新年度に向けてじっくり検討していかなければならない。そういう観点からすると、大池小池の問題が地域協議会として関わっていける問題ではないか。まずはテーマを絞り、共通認識を持って進めていくというステップが良いと思う。

【井部会長】

三部会では、これまで各地域へ出向いた意見交換会での意見を集約して部会に分け

て、絞り込みをかけてきた。産業部会は一步先行しているようだが、ほかの部会も絞り込みをかけている時だ。公民館分館問題、高齢者対策、特に地域振興部会も同じ高齢者対策だが、もう少しつめてそれぞれの部会で絞り込み、これでいきたいという提案をいただきたい。全体会議でテーマを一つに絞るか、あるいはそれぞれの部会からの報告を受け、最終的に一つに絞らなくても良いということであれば、地域協議会の自主審議のテーマとして複数決定していきたい。

【芳賀座長】

先行していけるものは進めていって良いと思う。ある程度、まとまらない段階では足並みをそろえる必要はない。

【井部会長】

自主審議のテーマは、随時いくつやってもいい。産業部会で大池小池を中心とした開発を先行していこうということになれば、皆さんから同意を頂き絞り込んでいく。並行して部会のなかでは、地域振興、教育福祉のほうでは高齢者問題、公民館問題を絞り込んでいくことでいかがか。

【西巻委員】

各部会の審議の中でダブっているところがある。大池とデマンドがダブっている。その辺は具体的に各部会で絞り込みをしてよいのか。

【井部会長】

各部会では自主審議にかけるテーマを絞り込んでほしい。テーマとしてこの地域協議会のなかで、大池小池開発問題を自主審議のテーマにしようということになれば、今度は全体の中で行政やいろいろな所から情報をいただき、もう1回地域と論議をするということも含めて、絞り込んでいきながら具体的に開発をするときにどこどこをどういう開発をするか、そのための予算確保をどうするかそれを全部市に任せていくか、市から補助金をもらってやるか、いろいろなやり方がある。

部会で同じようなテーマは共に挙げてもらい、1本に絞り込み、頸城区地域協議会の自主審議テーマにしようということになれば、高齢者問題のデマンド、教育福祉も地域振興も部会で上がってきたら一本に絞り込む。

【滝本委員】

大池小池は、頸城の産業振興の拠点、観光資源として非常に重要なところである。大池まつりが毎年行われているところでありこれがテーマになっているのであれば、

先に前倒ししてテーマにあげていくべきである。

【佐野座長】

大池小池を先行していただいたとしても、我々は蚊帳の外ではないので、全体会議の中で意見を出させていただきたい。部会でも審議したものは、産業部会であがったから審議しないというわけではないので時間のタイミングの前後の差はあるかもしれないがそれなりの動きで進めていっていただきたい。

【上村座長】

先月の部会の前に三部会長と話をした時に、地域振興にも頸城の祭典、大池まつりに関することという仕訳がある。委員の中に地元出身もいるなかで、産業部会でやるようにと言われているが、産業部会としてはあくまで大池小池で進んでいたが、空き家対策もあるのではないかと、皆さんの中で大池小池でという意見があれば、産業部会から手を離して会長副会長の中で意見集約をして自主審議に入ってもらえる。産業部会だけ突出していくことは全く考えていない。

【笠原委員】

各部会においては責任を持って、実態調査をそれぞれやってほしい。

【石野委員】

自主的審議については、ここまでの流れの中でどういう方向でまとめていけばいいのかかわからない。課題があがってきているわけだから課題に対して議論しているというのが議事録として反映できる。課題をそっくり回答を付けてお返しするとか、各部会で検討して部会の中できっちり審議して、その議事録は議事録として残していくプロセスが非常に大事である。

【船木委員】

大池小池の開発が進んだ場合、観光客も来るだろうし、今まで以上にバスも通る。足の対策にもつながる。頸城には泊まる場所がビジターセンターしかない。観光客が増え、泊まるお客さんが増えれば、空き家対策につながるのではないかと。大池小池の話はどんどん進めてもらいたい。

【井部会長】

これまで自主審議の進め方について、市から地域協議会の皆さんに出している図解のなかで②の地域協議会での協議、その下には地域協議会として自主的審議のテーマに取り上げるかどうかを協議。これについては産業部会で提案されている「大池小池

の開発について」皆さんの発言の内容では、自主審議のテーマとして取り上げるべきであるという発言である。異論なければ今回提案された大池小池の開発について自主審議のテーマとして取り上げていきたいと思うが異議はないか。

【全委員】

異議なし。

【井部会長】

大池小池の開発について、自主審議のテーマとして取り上げることを第7回地域協議会で決定していただいた。引き続き地域協議会として、これから自主審議を進めていきたいと思う。よって地域の関係者や市の担当課からの情報収集や必要に応じて地域との意見交換、そして課題解決の協議を進めていく。引き続き、地域振興、教育福祉のテーマについて絞り込みをかけていただき、また、地域協議会の場で提案をいただきたい。

以上で協議事項、「各部会の協議の経過について」を終了する。

【井部会長】

- ・「新クリーンセンターの供用開始について」説明を求める。

【橋立所長】

- ・資料No.1をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める

【石野委員】

以前、視察や研修会をできないかと要望が出ていたが、日程が詰まっていたが却下されたがオープンしてもできないのか。

【橋立所長】

見学する通路も作ってあるので、クリーンセンターとの確認の中で日程が取ればできる。委員の皆さんで決めていただければ日程調整させていただく。

【井部会長】

- ・他に質疑等がなかったので、報告事項を終了
(東北電力、市役所河川海岸砂防課 入室)
- ・「東北電力送電線新設工事に関する土質調査工事の実施について」東北電力より説明を求める。

【渡邊副調査役】

- ・挨拶

【南雲主査】

- ・資料No.2をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める

【橋本委員】

工事の期間が10月～1月だが、工事をするのは平日で週末はやらないのか。作業時間は決まっているのか。

【渡邊副調査役】

基本的には日曜日等は工事しない。平日やる場合は8時半から日没になる前くらいまでには現地を離れる。曜日や作業の時間等については来週、細かい部分の打ち合わせを再度する予定である。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、報告事項を終了
(東北電力、市役所河川海岸砂防課 退室)

【石野次長】

- ・次回の地域協議会の日程は10月下旬を予定している。
- ・「タイムカプセルの掘り起こしと展示について」

昭和62年頸城村村制30周年を記念して、タイムカプセルを庁舎の中庭に埋めた。当時の約束で、30年後に掘り起こすことになっており、今年がその30年目にあたる。このため、この掘り起こしを10月下旬に行う予定。是非、ご参加いただきたい。

また、そこで掘り起こした収納品については、希望館で開催するくびき文化祭において展示するほか、文化祭終了後も引き続き希望館で展示をする。

なお、肝心の掘り起こしの実施日を、当初は10月22日を予定していたが選挙等の流動的な状況であるので、それらの日程を踏まえ、決定次第、町内会回覧にて周知したいと考えているのでよろしくお願いいたします。

【井部会長】

- ・協議事項等全て終了
- ・ほかに委員に発言等を求める

【上村委員】

昨年10月大池周辺を視察した中で、一点だけ早急にやってほしいことがある。花ヶ崎・石神から上がって、最初にあるトイレの問い合わせをしたが、トイレのマークが全く無い。早くトイレのマークなり、印を付けてほしい。

【橋立所長】

現地をよく見て対応を検討したい。

【石野委員】

先回欠席したが事務局から概要の中身を文章でもらい、確認をしたが不採択に対する申し立てがあったという話があり、それについては会長から委員への報告に留めて協議や回答しないという決定事項ということで認識をしてよいか。

【井部会長】

よろしいです。

【石野委員】

その後、提案者側から当局の方に何かしらの申し出等々はあるのか。

【石野次長】

事務局には特に意見等はない。

【井部会長】

特になし。

【石野委員】

個人的な意見だが、今年のプレゼンを見ていると、協議会委員の皆さんが自らプレゼンをするというケースが何件かあった。違反でもないが、個人的な感覚からすると、いつも顔を合わせている面々がプレゼンをするとうとうしても、受け入れやすくなる。決してそれで甘く点数をつけてしまうわけではないが、委員ではない素人の方と比較すると、当然レベルも違うし、説得力も違うので今後の検討事項として、協議委員はプレゼンをしない方向のほうがよいのではないか。

もう一点、他の区では同じ提案が何回か継続していくと、それ以降リピートは無いような、打ち止めする採択方法を聞いた。

聞いた話で定かではないが、他の区の状況が事務局でわかれば調査していただき、検討してほしい。

【井部会長】

今の意見については次年度の採択方針の時に検討させていただきたい。

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、その他を終了
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線 212）

E-mail：kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。